

## 有馬・東有馬地域への コミュニティバス導入

### 市が運行経費への財政支援を

有馬・東有馬地域へのコミュニティバス導入については、昨年3月の運行実験で経費の削減が課題とされ、市当局が地元協議会に対してOB運転手による人件費の削減、運行時間と本数の削減を提案しています。



有馬地域でのコミュニティバス運行実験（09年3月）

石川議員は、「住民は運行時間を延長した運行を求めている」として、今後の計画の見直しにあたっては地元協議会・行政・事業者・警察を含め、協議の場をもつよう求めました。まちづくり局長は「状況に応じ、関係機関を交えた調整の場の設定を考える」と答弁。

交通局長は「公営バスが事業者として一層協力してまいりたい」と答えました。石川議員は、「本格実施には採算性が大きな壁となっており、運行経費への支援を充実すべき」と求めました。



9月議会で質問する、石川けんじ議員

## 障がい者福祉施設の仕事確保策を

障がい者福祉施設の仕事確保について質問。現在市内50カ所の事業所があり、昨年10月には共同受注窓口となる「川崎市障がい者施設しごとセンター」が設置されました。石川議員は「障がい者施設の仕事について、各局の発注が進むよう市として指針を示すべき」と求めました。

三浦副市長は「全庁的な取り組みを進めることはもとより、企業への働きかけや関係機関とも連携し、就労環境を整備していくことが必要」とし、「発注業務の拡大に向け、取り組んでまいりたい」と答えました。

## 認可外保育園の保育環境の 改善について 宮前区内で重大事故



今年4月8日、宮前区の認可外保育園で起きた乳児死亡事故についてとりあげました。

この死亡事故は「SIDS（乳幼児突然死症候群）」との診断でしたが、うつぶせ寝の状態で心肺停止になっていたことから、「あおむけ寝」を指導している市の「地域の保育園運営の留意点」に反するのではないかとたどりました。

また、この保育園は09年度も園長が児童の腕を噛むという事件を起こしており、市の立ち入り調査もしばしば行なわれていた園であることから、市の発行する「認可外保育園施設指導監督基準を

満たす旨の証明書」の取り消しを求めました。

子ども本部長は「一概に基準に反しているとは認められない」としつつも、うつぶせ寝をした事実関係を再度調査することを約束しました。「証明書」の取り消しについては「改善状況を確認したので返還は求めなかった」と述べました。

石川議員は、保護者が保育施設を選ぶ際の市の情報提供の改善を求め「プライバシー保護の観点もあるが、検討してまいりたい」と答えました。

### 解説 「認可外保育施設指導監督基準を 満たす旨の証明書」とは…

認可外保育施設の場合でも、職員の配置や施設基準など国の基準に合うように指導監督しています。指導監督基準を満たしていると認められる施設に対して証明書を交付し、公表します。川崎市ではインターネットなどで施設案内情報とともに公表されています。

## 市の責任で用地を確保し 認可保育園の緊急増設を

今回、悲しい事故に遭われたご両親も、当初、認可保育園を申し込んで入園できず、その認可外保育園を利用せざるを得なかったものです。待機児童



保育園整備用地として提案している  
土橋4丁目の旧水道局官舎跡地

が年々増加するなか、このようなケースが増えています。

認可外保育園の保育内容の改善と同時に、なによりも、入園希望者がすべて入れるよう認可保育園の増設が必要です。宮前区の待機児童数（今年4月時点）は150人。共産党は整備を進める課題である土地の確保について、あらゆる公有地の活用を提起。宮前区では土橋4丁目の旧水道局官舎跡地の利用を提案し、内部検討が行なわれています。

## ランチサービスの喫食率50%台 麻生区・はるひ野小中学校を視察

市内の中学校ランチサービスの喫食率が1%程度と低迷するなかで、唯一50%程度を維持している麻生区・はるひ野小中学校を視察（10月12日）。小学校の調理室で作られる、あたたかい「給食」と同じ物をランチルームで試食し、市内初の小中連携校の施設を見学しました。



試食する石川けんじ議員

# 市民アンケートで寄せられた 宮前区内の住民要求

解決に向けて調査を進めています

共産党川崎市議団が実施している「暮らし・子育て・高齢者に関する市民アンケート」には全市域で3,600通を超える返信、宮前区の方からも10月末までに561項目のご意見・ご要望が寄せられています。石川けんじ議員は具体的な地域要望について現地調査を進め、12月に宮前区長に提出。その一部を紹介します。

## 公園の改善について

有馬・東有馬地域内33ヵ所の公園を調査して回りました。改善が必要なケースを紹介します。

- 有馬こども公園…少年野球ができるようネットが設置されているが、ネットの裏に遊具があり、もっとネットを高くできないか。



- 有馬梅林公園…公園の斜面の草や立木が歩道にせり出している。
- 東有馬1丁目公園…遊具が壊れて利用できなくなっている。
- 有馬やまもも公園…滑り台が壊れて利用できなくなっている。砂場が利用しにくい。
- 有馬中央公園…砂場の砂が少なく、砂場と淵との段差が大きき危険。



※公園の管理は地元の団体に委託されている箇所もあることから、管理団体のご意見を伺いながら改善を進めていきます。

## 駅前改善について

- 鷺沼駅…駅前広場を大きくして、車の流れを良くしてほしい。



## カーブミラーの設置について

- けやき平…抜け道となり交通量も多いが、一時停止しないで進む車が多いY字路。



- 犬蔵…「ゆりかご通り」方面から浄水場通りにできるT字路。浄水場通りに出るとき、正面にミラーがほしい。
- 犬蔵…「ゆりかご通り」の上り坂の途中にある5叉路。菅生6丁目方面から「ゆりかご通り」に出るときに見づらい。



- 宮前平駅…(尻手黒川通り方面)駅前広場。バス停付近の通りが狭く歩きづらい。



## 交差点の安全対策について

- 白幡八幡大神からバス道路に出る交差点…バス通りがカーブの下り坂で車のスピードが速く、見通しも悪く、今年2件の事故が発生している。



- セブンイレブン犬蔵1丁目店の交差点…変則の十字路であるため、横断時間が短く、高齢者など渡りきれないことがある。

- 市営バス菅生車庫の前の横断歩道…車道から歩道のスロープがきつくと、車いすが歩行できない。信号待ちしていた方は、「転んでいる人を何人も見ました」と危険性を指摘している。



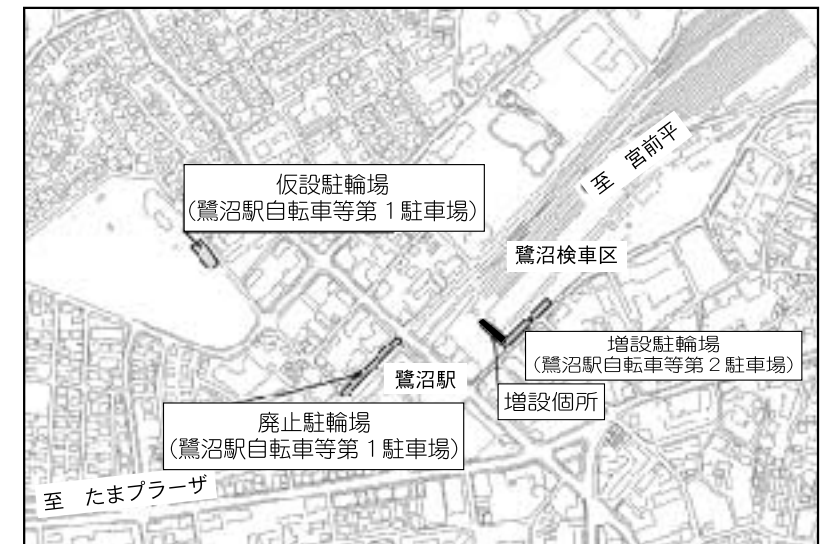
- 野川交差点付近(第3京浜陸橋下)に信号機設置を…朝夕は渋滞、尻手黒川道路から第3京浜の側道に入る車も増加。調査を行なったときも、多くの車が側道を利用して



# 鷺沼駅北口改札口の開設に伴い 第2駐輪場増設(2011年7月供用開始) それまで鷺沼4丁目に仮設駐輪場

鷺沼駅の2011年4月(仮称)北口改札口開設のための工事が進んでいます。開設に伴い、線路沿いの鷺沼駅自転車等第1駐輪場が廃止されます(利用は2011年1月3日まで)。代替施設として既存の鷺沼駅自転車等第2駐輪場が増設されることになっています。

しかし、当該増設工事による供用開始は2011年7月を予定しており、それまでは鷺沼4丁目地内に仮設駐輪場を整備し、供用開始までの対応を図ることになります。



## 巨大化計画の川崎港など 大規模開発の現場を視察

共産党川崎市議団は10月15日、川崎臨海部開発、税金ムダづかいの現場を視察。市が当面1,000億円規模の巨大化計画を発表した川崎港コンテナターミナル、市が土地を購入して企業



羽田連絡道路建設予定地

に貸し与え事業化している水江町(237億円)や殿町いすゞ跡地(23億円)、羽田連絡道路建設の計画(見込額400億円)がある多摩川河口干潟、市有地12haを東京電力に20年間無償貸与する浮島のメガソーラー建設現場などを視察しました。